

「次期農林水産業アクションプログラム」の策定の進め方について

1 趣旨

令和3年3月に策定した「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」（以下「現行アクションプログラム」という）が計画期間の最終年となったことから、「安心・誇り・挑戦ひろしまビジョン」（以下「ビジョン」という。）の改定を踏まえながら、現行アクションプログラムの振り返りを行うとともに、次期アクションプログラムの策定を進める。

2 次期アクションプログラムの策定について

（1）基本的な考え方

- ① これまでの取組状況、成果と課題、高齢化や労働人口の減少に伴う農林漁業者の減少など、農林水産業への影響を考慮すべき社会情勢も加味し、ビジョンに定める目指す姿に到達できるよう、広く県民に対し農林水産業施策の方向性を提示する。
- ② ビジョンの改定を踏まえるほか、国の「食料・農業・農村基本計画」や県の「中山間地域振興計画」など、関連する計画の見直しとの連動を図る。
- ③ 行動計画の策定にあたっては、市町、関係団体、県民等からの意見を十分に踏まえる。
- ④ 農林水産業が県民の豊かな生活の実現に貢献できるよう、その取り巻く環境の変化や技術の革新に対応しながら、県産農林水産物のブランド価値を高め、生産から販売に至る生産性の改善を支援するとともに、経営力の高い農林漁業者を確保・育成することにより、生産性の高い持続可能な農林水産業の実現に繋げていく。

（2）計画期間

令和8年度～令和12年度（5年間）

ビジョンの計画期間である10年間（R3～R12）のうち、後半の5年間の計画期間として、行動計画を定める。

（3）策定スケジュール（案）

区分	令和7年						令和8年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
策定作業	計画骨子案整理											策定通知
										パブリックコメント		
農林水産委員会	進め方			検討状況				骨子案	素案	集中審議	策定報告	